

学会彙報

○昭和五十七年度 大塚漢文学会大会 六月二十六日(土)

於 豊島区民センター

〔研究発表会〕

一、文明新戯と現代話劇

——脚本数種を比較して——

愛知大学 白井 啓介氏

一、「語絲」の周作人拾い読み

東京女子大学 伊藤 虎丸氏

一、「春秋事語」について

東京外国語大学 高橋 均氏

一、阮籍の賦について

山形大学 沼口 勝氏

一、一授業の展開例としての故事成語

都立上野高校 渡辺 雅之氏

一、論語の指導

——表現上の特色に留意した指導——

都立国立高校 謡口 明氏

一、独化と往復

国学院大学 中野 達氏

一、現代漢語の虚詞について

大東文化大学 牛島 徳次氏

〔総会〕 司会

一、議長選出

二、委員長挨拶

三、諸報告

(1) 総務企画

(2) 編集

四、議事

(1) 昭和五十六年度決算

(2) 昭和五十七年度予算

五、その他

内山委員

宮内 保氏

加賀委員長

向島委員

大上委員

中村(俊)委員

中村(俊)委員

大塚漢文学会々々則

- 一、本会は大塚漢文学会と称する。
- 二、本会は漢文学及び漢文教育の研究と普及とを図ることを目的とする。
- 三、本会の会員は左の通りである。
 - 1、旧東京教育大学漢文学会々々員であつて参加を希望する者
 - 2、その他入会を希望する者
- 四、本会の主な事業は左の通りである。
 - 1、総会 年一回
 - 2、例会 年約三回
 - 3、学会誌及び会員名簿の発行
 - 4、その他必要な事項
- 五、本会の役員は左の通りである。
 - 1、委員長 一名
 - 2、委員 若干名
 - 3、編集委員 若干名
- 六、役員の仕事
 - 1、委員長は本会を代表し委員とともに運営にあたる。
 - 2、委員は本会の庶務・会計・企画を分担する。
 - 3、編集委員は学会誌の発行にあたる。
- 七、役員の選出及び任期
 - 1、委員長は委員の互選による。
 - 2、委員は会員の互選による。
 - 3、委員会が必要に応じて委員を委嘱することができる。
 - 4、編集委員は委員会が委嘱する。
- 八、会員は会費年額三千元を納める。
- 九、本会々々則の変更は委員会の審議を経て総会出席者の過半数の

承認を得なければならぬ。
附則1、本会は昭和五十四年六月二十三日より東京教育大学漢文学会々々則に代つて発効する。

2、本会の事務所を当分の間筑波大学文芸言語学系中国文学研究室に置く。
以上

編集委員(委嘱)

(哲学・思想) 小林 信明・加賀 栄治・水沢 利忠
(文学・語学) 鈴木 修次・内山 知也・伊藤 虎丸
(漢文教育) 鎌田 正・金子 泰三・田部井文雄

学会委員会

(長) 加賀栄治 (副) 水沢利忠・内山知也(総務)

高橋均・若林力・向島成美・樋口靖・堀池信夫・松本肇(庶務)
中村嘉弘・安藤信広・中山至・加藤敏(編集) 伊藤虎丸・松村英夫
・大上正美・佐治俊彦・阿川修三(会計) 中村俊也・高橋明郎(会計監査) 横山伊勢雄・田中有

漢文学会会報第四一号

昭和五十八年六月一日印刷
昭和五十八年六月一日発行

大塚漢文学会

編輯者

伊藤 虎丸・松村 英夫
大上 正美・佐治 俊彦
阿川 修三

印刷所

東京都千代田区神田神保町三ノ一〇
株式会社 共立社印刷所
電 (20) 二〇二八

発行所

茨城県新治郡桜村
筑波大学文芸言語学系内(千三〇五)
大塚漢文学会